

神奈川県議会議員

永田 まりな

MARINA NAGATA



令和6年 第1回定例会開会中

鎌倉人 VOL.76

「新かながわグランドデザイン」の実現に向けた令和6年度予算とは!? 能登半島地震を受けての施策反映は!?

現在、令和6年第1回定例会が開会中です。神奈川県は令和6年度当初予算案が示され、慎重審査中であります。次年度の一般会計は2兆1,450億円であり、前年度比92.2%となっています。また、特別会計と企業会計も含めた3会計の合計は、4兆5,117億円と、6年連続で4兆円台となり、過去3番目の予算規模となりました。

初日の知事提案説明で令和6年度の県税収入の見通しについて以下の通り説明がありました。

“

政府は、今年1月の月例経済報告において「景気はこのところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」としている。また、先行きについては、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクはあるものの「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される」としている。こうしたことから、令和6年度の当初予算では、定額減税による減収影響が生じるものの、個人所得や企業収益の増加が続くことを見込み、5年度当初の見込みに対し、主要税目である個人県民税と法人二税で増収を見込んだ。

この県税収入に、地方譲与税を加えた税収全体では5年度当初の見込みと比べ49億円増の1兆5,209億円となり、税交付金等を差し引いた実質ベースでは、186億円増の1兆2,141億円となる見通しである。

”

県税収入だけを見ますと、増加傾向にありますが、実際の県民生活や中小企業を中心とした事業所に直結しているかといえばそうとはいえ、引き続き厳しい状況であることは言うまでもありません。また、能登半島地震の発災を受けては、

“

今回の地震における課題を本県の災害対策の強化に繋げていくことは重要。石川県が氏名を公表した犠牲者のうち、9割近くが家屋の倒壊によって亡くなられたことが報じられている。倒壊した家屋は、旧耐震基準で建てられた住宅が多いと指摘されており、耐震改修の重要性を改めて認識した方も多いと思う。

県では、耐震改修を促進するため、市町村と連携し、普及啓発、窓口相談、耐震診断・耐震改修などの財政支援を実施しているが、引き続き必要な支援に取り組んでいく。また、今回の地震は、被災地が地理的に南北に細長い半島であったこともあり、道路の寸断によって孤立する地域が多く発生。さらに、電気や水道、通信などライフラインの断絶が長期化するという事態となった。半島地域を有する本県にとって、能登半島地震は決して他人事ではない。孤立地域を発生させないよう、引き続き、道路における土砂崩落対策や橋りょうの耐震補強など、緊急輸送体制の確保に取り組んでいく。さらに、孤立が想定される地域への対応として、断水に備えた水循環式シャワーや携帯トイレなどの備蓄を増強する他、現地で支援に当たった本県の江口CIO兼CDOからの提言を受け、衛星通信システムの導入を速やかに予算化するなど、諸施策を当初予算案に計上している。

”

と表明されました。「災害に強いかながわ」に向けた取り組みには1,400億円超の予算がつけられており、今回の予算案の中でも重要項目の一つとなっています。迅速に予算に反映させたことは評価しています。これだけ災害が頻発する近年、南海トラフ地震や首都直下型地震など、神奈川県でもいつ起きてもおかしくない災害に向け日頃からの備えが必要です。所属する防災警察常任委員会などで詳細な議論を深めていくこととなりますので、次号で改めてご報告させていただきます。

能登半島地震への本県の支援取り組みについて

本年1月1日16時10分に石川県能登地方でマグニチュード(M)7.6(気象庁暫定値)の「令和6年能登半島地震」では、241名の方がお亡くなりになる(3月1日現在)など甚大な被害をもたらしました。また今なお、避難所での生活を余儀なくされている方や、お怪我をされた方も多くいらっしゃいます。改めて、お亡くなりになられた方々に心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災されましたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。

県では、地震発生の直後から、庁内に災害対策支援チームを設置し、被災地の情報収集や関係機関との連絡調整を行い、支援の要請があれば直ちに対応する体制を整えました。

発災当日の1日夜には県警察の救助部隊が被災地に向けて出動し、翌2日からは横浜市、川崎市の消防防災ヘリが、そして、9日には県内23の全ての消防本部の参加の下、78隊283人からなる緊急消防援助隊神奈川県大隊が出動しました。(3月1日現在延出動部隊数:578隊1932人)

また、現地の統括DMATのサポートのための医師や、政令市・保健所設置市と連携した保健師チームの派遣のほか、被災者の避難生活を支援するため、物的支援や応急給水チームや一般職員派遣などの人的支援、公営住宅の提供など出来る限りの後方支援を継続的に行なっています。

令和6年能登半島地震 神奈川県の支援取組



ボランティア関連のリンクもあります

防災警察常任委員会、能登半島地震を受け神奈川県の対応を議論

所属している防災警察常任委員会でも、能登半島地震を受けて来年度予算に組み込まれた災害対策費に関するを中心に議論して参ります。予定している質問項目は以下の通りで、次号にて詳細をご報告致します。

- ✓ 地震被害想定と新たな地震防災戦略の策定
- ✓ 災害時における地域の孤立化やライフライン断絶への対策
- ✓ 災害時における応援部隊の受け入れ拠点の確保
- ✓ 災害時の支援等に関する協定の締結状況

一日も早く被災された皆様が心穏やかな日常を取り戻せるよう、引き続き議論を深め支援に繋げてまいります。

Q 委員会とは？

限られた会期中で、たくさんの議案や請願・陳情などを審議するため、本会議の議決に先立ち、専門的かつ詳細に審査する委員会が設置されています。永田の所属する「防災警察常任委員会」では危機管理の総合調整、安全・安心まちづくり、災害対策及び消防、高圧ガス等の保安、消費生活、警察の管理運営、生活安全、地域、刑事、交通及び警備警察、そのほかくらし安全防災局や警察本部などの仕事について審査します。

永田まりなプロフィール



1983年2月19日生まれ40歳 七里ガ浜在住
聖路加幼稚園 ~ 鎌倉市立七里ガ浜小学校 ~ 私立北鎌倉女学園中学校
神奈川県立鎌倉高校 ~ フェリス女学院大学卒業

2013年 鎌倉市議選初当選、2017年 鎌倉市議選2期目当選
2019年 神奈川県議会議員初当選、2023年 神奈川県議選2期目当選
防災警察常任委員会、予算委員会所属、自民党神奈川県議団副団長、
自民党神奈川県連遊説局長 公式LINEで県政情報など随時発信中!

「永田まりな」公式LINE
友だち登録はこちら



永田まりな事務所